

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	7008	(H.24)No.	7008
-----------	------	-----------	------

事務事業名	公共下水道事業特別会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
上下水道部	経営総務室	石橋 勝	

会計区分	事業コード
公共下水道事業特別会計	(中事業名) 予算書事業名
款	
項	(小事業名)
目	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	1	公共下水道の整備
重点施策コード	4-5. 下水道事業の計画的な推進		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
公共下水道、戸別浄化槽の整備により、市民の快適な生活環境の創造と公共水域の水質保全を目的としています。
事業内容
中央処理区及び南部処理区を合わせた公共下水道事業の普及促進に取り組んでいきます。 ・名張地区の面整備、住宅団地接続移管及び詳細設計 ・接続移管した住宅団地の管路施設老朽化に対し、長寿命化対策を含めた改築事業実施 ・南部処理区(住宅団地)の公共管理 ・戸別浄化槽の実施計画 ・安定した施設の維持管理

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
		建設費 H23繰越分 270,644千円 面整備工事 H24現年分 206,489千円 詳細設計、面整備、接続幹線管工事。管路施設の老朽化対策を含めた改築事業。全体計画の見直し。H25への繰越523,420千円 面整備、接続幹線管工事。施設管理費 201,545千円・中央浄化センター施設管理、管渠修繕等 総務管理費 13,963千円・システム使用料、料金徴収業務負担金等 戸別浄化槽維持管理費6,170千円 公債費370,600千円 利子積立 2千円	建設費1,349,310千円 ・詳細設計、接続幹線管渠詳細設計等、第2期事業変更認可の事業延伸、全体計画の見直し 155,000千円・面整備、接続幹線管渠工事等 999,800千円・管路施設の老朽化対策事業 183,000千円・他事務費等 11,510千円 施設管理費275,578千円・中央浄化センター施設管理、管渠修繕等 総務管理費 17,880千円・システム使用料、料金徴収業務負担金等 戸別浄化槽維持管理費 7,498千円 公債費390,060千円 その他10,004千円	・面整備及び接続移管 ・南部処理区の公共管理 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等	・面整備及び接続移管 ・南部処理区の公共管理 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等

	H.24年度(決算見込)		H.25年度(作成時予算額)		H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	(270,644千円)	798,769千円	2,050,330千円	2,201,790千円	2,306,318千円	2,960,961千円	
内訳(千円)							
国・県支出金	(122,699)	93,651	587,388	657,318	586,028	853,108	
地方債	(121,500)	145,600	726,300	651,800	569,600	854,200	
その他(使用料等)	(26,445)	380,792	790,261	998,779	872,749	968,283	
一般財源	(0)	321,770	88,151	32,493	424,241	431,670	
人工数							
職員		17.00人	18.00人	18.00人	19.00人	19.00人	
臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
概算人件費	(0千円)	143,044千円	141,770千円	138,600千円	146,300千円	146,300千円	
+ 総事業費	(270,644千円)	941,813千円	2,192,100千円	2,340,390千円	2,452,618千円	3,107,261千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
事業実施において、地域実情に配慮した施工、住宅団地汚水施設所有者との接続合意形成に時間を要することのほか、国、交付金の縮減を踏まえると事業遅延が避けられない状況にある。 処理場施設整備後、経年による処理機器の定期点検、修繕等の維持管理費が増加しました。	名張市公共下水道事業に係る第2期事業変更認可の事業延伸、全体計画の見直し、また、戸別浄化槽の実施計画の作成に取り組んでいきます。 適正な処理機器の定期点検に努め、安定した施設の維持管理に努めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	健康で快適な生活環境を形成するとともに、公共水域の水質汚濁を防止し、豊かな自然環境を保全するため、下水道の普及促進に取り組んでいます。 中央処理区の整備区域面積411ha、整備人口14,963人、普及率18.3%、面整備率53.7%に達しました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
「社会資本整備総合交付金」(水の安全・安心基盤整備)に係る5か年の整備計画に基づき、事業実施をしていきます。	名張市下水道整備マスタープラン 名張市公共下水道全体計画